

編集後記

今年は例年になく暖かい冬となっています。少々遅くなりましたが、Vol. 26 No. 4をお届けいたします。今回は生涯教育講座2編，臨床・研究7編のご投稿をいただきました。各論文ともすぐれた内容です。「地域がん登録で検証した子宮頸がん検診の問題点と改革案」は11ページに及ぶ長論文で，受診率の向上など今後改革案が検討され，よりよい検診体制になることを期待しています。

また「入院患者における転倒の危険因子の分析と対策」は高齢化社会の中で病院・施設に入っている方にとって深刻な問題で，転倒によって骨折などを起こせば著しいQOLの低下を来します。そうかと言って危険を恐れて行動を制限するのも問題がありそうです。ハード面における改良・改修による予防も必要となってきますが，最近はマニュアルもさることながら，それぞれの患者さんの状態・状況に応じた個別の対応が求められています。特に高齢者等の視力，脚力，平衡感覚など低下している方にはきめ細かな対応が益々重要になって来ています。今後も，この課題は長年にわたって検討される古くて新しい問題になると思います。

その他，興味ある多数のご投稿をいただき感謝申し上げます。引続き多くの先生方のご投稿を期待しております。

（K.N）

島根医学編集委員

野坂研介，西野泰生，武田博士，沖田瑛一，葛尾信弘，伊藤是衛，
益田順一，信太秀夫，中井 勲，佐藤比登美，中川正久，小林祥泰

島根医学

平成18年12月31日発行

発行者 島根県医師会
安来市安来町
編集 編集者 野坂研介
発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松陽印刷所